

J-PAC (Japan Program at Chiba) チューター募集要項

千葉大学では、毎年4月と10月に始まるJ-PAC (Japan Program at Chiba) という留学生の受入れプログラムを実施しています。協定大学を中心とする海外の大学の学部生(2~4年生)を11か月間(または5か月間)千葉大学に受入れるプログラムです。

このたび2021年度後期に国際教養学部¹に入学予定のJ-PAC生のチューター候補者^{*}を募集することになりました。チューター候補者となるには、事前の研修をMoodle上で受ける必要があります。興味のある方はこの要項を熟読した上で申し込んでください。

なお、現在海外からの入国が制限されているため、2021年度後期はほとんどのJ-PAC生が自国でメディア授業を受けることになる可能性があります。したがって、チューターとしての活動がオンライン中心となることも予想されることを理解した上で申し込んでください。

^{*} チューター制度およびプログラムの概要については2ページ目に説明があります。

1. 活動期間：2021年度後期(2021年10月~2022年2月)
2. 活動時間：50時間
3. 募集人数：20名~30名程度
9月中旬に最終的な留学生数が確定する見込みです。
4. チューターの仕事(活動内容)：
 - 1) 留学生と同世代の友人となって相互理解を深めるとともに、日本語で会話を楽しむ機会を作る。
 - 2) 留学生が千葉大学での勉強、日本の生活にスムーズに溶け込めるよう手助けをする。
5. 応募条件：以下の4つの条件を満たしていること。
 - 1) 2021年度後期に週3時間程度留学生とオンラインで会話をする時間が取れること。来日後は、お互いに感染対策を取った上で、直接会って活動できること。
 - 2) Moodle上での事前研修(オンデマンド方式)を9月3日(金)から9月16日(木)の間に受講し、9月17日(金)午後1時~3時のオンライン選考(グループディスカッション)に参加できること。
 - 3) 担当留学生の希望やニーズに応じて、自分は何ができるか考えて行動できること。
 - 4) 月間報告書等のチューターに求められる書類を作成し、提出できること。ただし、2021年度「留学生支援入門(1)」を履修登録した人、2020年度の「留学生支援入門」の単位を修得した人は、2)の事前研修の受講、オンライン選考への参加は不要です。
※事前研修用のMoodleのコースの登録キーは9月3日(金)までに、7の応募用フォームで申し込んだ方にお知らせします。
※チューター経験者の応募も歓迎します。
※アルバイト、インターンシップ、論文作成などで時間的な制約が大きい方はご遠慮ください。
6. 謝金：チューターとしての役割を果たした学生には大学規定の謝金(時給1100円)が支払わ

れます。

7. 応募方法：8月31日（火）までに「国際教養学部 2021年度後期チューター応募用フォーム」(<https://forms.gle/Mf3RRKqL9qR2CRWT9>)に URL または右の二次元バーコードからアクセスして申し込んでください。応募理由や抱負などを書いていただきます。応募用フォームには、千葉大学の Google アカウントでアクセスすることができます。
8. 選考方法：応募用フォームへの記載内容、Moodle 上での事前研修の受講状況、オンライン選考（グループディスカッション）によって選考し、9月21日ごろにメールで採否をお知らせします。採用人数は実際に入学する留学生数によって決まります。また、留学生とのマッチングも重視して選考します。



問い合わせ

国際教養学部国際交流委員会 見城悌治 kenjo@faculty.chiba-u.jp

J-PAC コーディネーター（国際教養学部） 吉野文 ayoshino@faculty.chiba-u.jp

【チューターに応募する前に】

1. J-PAC とは (<https://cie.chiba-u.ac.jp/programs.html> 参照)

J-PAC (Japan Program at Chiba: 千葉大学短期交換留学プログラム) は、「日本研究プログラム」と「国際教養プログラム」の2つのカテゴリーがあります。いずれも海外の大学で日本語を学習した経験があり、日本文化、日本語に興味を持っている学部生のためのプログラムです。ただし、学生の日本語能力は、上級の人からゼロに近い人まで様々です。

参加者のほとんどは協定大学からの交換留学生です。西千葉キャンパスの各学部にも所属して、語学としての日本語科目、普遍教育科目、学部専門科目などを受講します。2021年10月は、中国、台湾、韓国、タイ、インドネシア、マレーシア、ミャンマー、トルコ、ドイツ、フィンランド、英国、フランス、スペイン、クロアチアの大学から学生を受入れることになっています。

2. チューター制度とは

チューター制度は、千葉大学が行っている留学生支援事業の一つで、留学生を生活、勉強の両面で支援するために、受入れ大学である千葉大学の学生の中から適当な学生をチューターとして留学生に紹介するものです。チューターの役割は、留学生の身分、留学の目的、日本語能力などによって異なりますが、J-PAC 生の場合、1 ページ目の「活動内容」に記したようなことが期待されます。

ほとんどの J-PAC 生にとって、チューターが1対1でつき合う最初の千葉大学生になるため、チューターに対する期待は大きいものがあります。また、チューターは謝金を受け取る仕事です。チ

ューターになった学生には、「何か質問されたら答える」といった受け身の態度ではなく、自ら状況を判断して行動することが望まれます。自らの役割を果たすためには、お互いに信頼し合える対等な友人関係を育てていくことが肝要です。チューターを務めることは、チューター自身にとっても、自分とは異なるものの見方を学んだり、日本について改めて考えたりするきっかけとなります。自分自身のコミュニケーション能力を向上させるよい機会でもあります。

3. チューターとしての義務

留学生の所属する学部事務に指導計画書や月間活報告書などを提出したり、必要に応じて開催されるミーティングに参加したりしなければなりません。

4. FAQ

Q：チューターは具体的にどんなことをすればいいのですか。

A：まず、お互いの専門、趣味、日常生活の話などして、距離を縮めるよう努めてください。学期、タームの開始時には、履修する科目について相談に乗ったり、メディア授業のシステムの使い方についてアドバイスしたりしてください。ほかにも、授業の予習・復習を手伝う、サークルのオンラインのイベントと一緒に参加するなど、いろいろ考えられます。来日した場合は、身の回りの品を揃えるのを手伝ったり、対面の教室や教科書の買い方を教えたりしてください。留学生と話し合っ（または、留学生と会話する中で）、相手をよく理解し、自分自身のこともよく理解してもらえるように心がけてください。また、チューターの役割は日本語をサポートすることには限定されません。お互いの大学（生活）、家族、若者文化などテーマを決めて話すのもよいでしょう。

Q：チューターをする曜日・時間は決まっていますか。

A：決まっていません。二人で相談して決めます。今回は日本と時差のある国で生活している学生もいるので、活動の方法や時間については留学生とよく話し合っ調整してください。

Q：英語ができなくてもチューターになれますか。

A：留学生はほぼ全員が日本語を学習しています。相手の日本語のレベルに合わせて日本語を使ってください。英語でのサポートが必要と思われる留学生には、相応の英語力がある方にチューターをお願いします。ただし、留学生は、チューターの英語の練習相手ではありません。また、英語以外の相手の言語を学習している方には、積極的に応募していただきたいと考えています。

Q：学部1年生、大学院生でも申し込めますか。

A：応募条件を満たしていれば申し込めます。

Q：自分が対応できない質問を受けたようなときはどうすればいいですか。

A：手続き上のことは留学生課の担当者に、科目の選択など授業に関することはJ-PACコーディネ

ーターに尋ねるよう勧めてください。来日後の留学生の生活面でのサポートは、留学生課内にある国際ナショナル・サポートデスクでも行っています。日本語に関する質問は、国際教育センター2階にある「日本語支援室」(<https://cie.chiba-u.ac.jp/support.html>)のチューターに相談することもできます。